

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31 - 12	中学校	美 術	美 術	2-3
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	美術 803 美術 804	美術 2・3 上 学びの実感と広がり 美術 2・3 下 学びの探求と未来		

1 編修の基本方針

— これまでも、これからも大事にしていること —

本教科書は、弊社が美術の教科書を発刊して以来、「発達の段階に応じた学びの大切さ」を重視して発行しています。中学生という13歳、14歳、15歳に応じた成長を後押しできる美術の学びが重要と捉えています。

美術は何のために学ぶの？ に応える学びがつまっています

変化が激しく予測困難な現代社会の中で、生徒たちには、自ら課題を発見し、試行錯誤しながら解決方法を探し、他者と協働して新たな価値を創造する力が求められています。

本教科書は、それぞれの発達の段階をきめ細かく分析し、各学年の資質・能力に合わせた美術の学びが最も重要であると捉え、生徒の成長に応じた3分冊として内容を構成しました。

また、生徒が持続可能な社会の担い手として成長するために、美術の学びが生活や実社会に生かされていることを実感でき、他者との共存や、社会を創造していく力が育まれることを目指して編修しました。

基本方針 1 生徒の成長に合わせた美術の学び

中学校3年間の成長と大きく関わる美術科。
自己・他者，生活・社会，世界・未来へと深く関わり合う題材構成。

知識及び技能

思考力，判断力，表現力等

学びに向かう力，人間性等



基本方針 2 生活や社会とつながる美術の学び

地域や社会に関心を持つことができ、自分たちのこととして受け入れ、課題を解決する題材構成。



基本方針 3 新しい価値を創造する美術の学び

意欲的に学び豊かな感性を育み、よりよい人生を送ることができる題材構成。

生徒の成長に合わせた美術の学び

中学生という13歳、14歳、15歳の多感な時期は、心も体も大きく成長する大切な時期となります。1年生の学びをもとに、2年生、3年生の発達の段階で成長していく過程を、常に大切にしています。

感じたり気づいたりしたことを自分なりに試して悩んだりしながら、美術の学びを実感する。(美術2・3上)

生活や社会の中にあるさまざまな課題について、美術の力で解決する方法を探る。美術の学びを通して視野を広げ、豊かで創造的な人生のとびらを開く。(美術2・3下)

美術は、身の回りにある形や色彩などすべてにおいて「造形的な視点」で捉えることで、新しい見方や感じ方が生まれ表現・鑑賞の活動の手助けとなります。また、自己・他者、周囲のこと、生活・社会、世界・未来に対し、これらの項目と美術の学びがスパイラルのように関わり合って成長するイメージで編修しています。



中学校美術の学び

小学校図画工作の学び

【義務教育9年間の図工・美術の学び】

2年生の学び(美術2・3上)、3年生の学び(美術2・3下)では、1年生で身に付けた資質・能力を柔軟に活用し、より豊かに高められるよう、各学年の学びのスタートにふさわしいオリエンテーションを設けました。

● “試行錯誤をしながら学びの手ごたえ”を感じる2年生に対して。

印象派のゴッホの筆づかい(原寸大)を2ページ大で掲載。

大胆な筆づかい、色づかいで独自の世界を表現

南フランスのアルルで描いたゴッホは、アルルの強い光に感ぜられて以降、力強い筆づかいや鮮やかな色の作品が多くなる。「星月夜」は部屋の窓から見た景色をもとに描いているが、美術の鑑賞にない建築物が描かれていたり、窓は誇張状態で表現されたりしている。

星月夜 [油彩] キャンヴァス/73.7×92.1cm | 1889
 ニューヨーク近代美術館蔵 [アメリカ]
 フィンセント・ファン・ゴッホ [オランダ・1853-90]

▲2・3上 P.5 オリエンテーション

学びの言葉
表現することは
生きることへの問い



美術家 岡本太郎 (神奈川県・1911-96)
 絵画、彫刻、陶芸、工業デザイン、写真など幅広いジャンルで才能を発揮した芸術家。生涯、芸術はみんなのもの、生活そのものだと考えていた。

▲2・3上 P.5 学びの言葉 岡本太郎氏

中学生に響く岡本太郎氏の自然体の言葉。

● 自己の内面を見つめるとともに、将来や社会を意識する3年生に対して。

ガウディの建築から、西洋美術の素晴らしさ、作家の思いを2ページ大で掲載。

サグラダ・ファミリアの建築家 [油彩] 1888-1926 | ガウディ、ファリス・サグラーダ

1882年に築き上げた、サグラーダが設計・建築し続けたのは1982年までである。

▲2・3下 P.4 オリエンテーション

学びの言葉
大人になってみると、
一番必要なのは美術だった



俳優 井浦新 [東京都・1974-]
 映画、舞台、テレビドラマと俳優として幅広く活躍するほか、自身のアパレルブランドも展開。美術に対する造詣も深く、文化財修復保護や伝統文化の継承のサポート活動も行っている。

▲2・3下 P.5 学びの言葉 井浦新氏

俳優・井浦新さんのことばから、学ぶことの大切さを知る。

● 何をどのように学ぶのか「主体的・対話的で深い学び」

美術の教科書ではどの題材においても、主体的で対話的な活動を促します。
また、意欲的に自ら学びを深めたいという情報も掲載しています。

勝利の瞬間



▲2・3上 P.10
瞬間の美しさを形に



▲2・3上 P.31 文化の出会いがもたらしたもの

2年生が実感しやすく / 美術2・3上特設ページ「あなたの美を見つけよう」

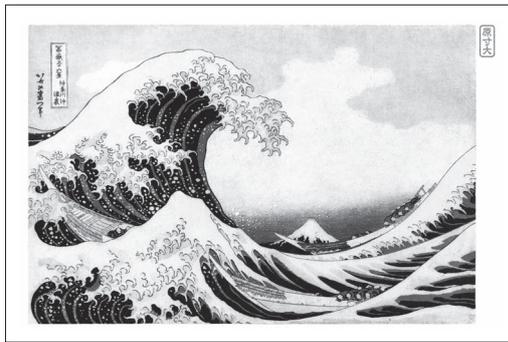
全国の中学生が身の回りの美しい瞬間を捉えた写真を28点掲載

成田空港のサイン計画



▲2・3上 P.38 ひと目で伝えるための工夫

北斎の「神奈川沖浪裏」原寸大。
実際の版画の色に近づけたインキを使用し、
通常の倍となる高精細印刷を実施。



▲2・3上 P.36-37 浮世絵はすごい

地域へのお礼を込めた活動



▲2・3下 P.15 仲間との交流の中から

全題材・資料ページを通して

- 主体的に学習しやすい情景図版を多数掲載
- 活動がさらに深まるコラムを随所に掲載
- アイデアスケッチなど発想・構想のヒントを随所に掲載

● 何ができるようになるか。

資質能力の三つの柱から、特に2・3年生では、生活や社会に関わる関心から資質能力を育てていける題材を用意しました。

3つの柱を、本教科書では以下のように考えています。

知識及び技能

新たな見方・感じ方から造形的な視点を持って、表したい技能を身につけていくことができる。



思考力、判断力、表現力等

発想や構想する力を育み、造形の見方に変化が生まれ、生徒からの発信、対話、行動力につながる。



学びに向かう力、人間性等

興味関心を持たせ、さらに意欲的に活動させる働きかけをする。



学びの目標

【学びの目標】

- 関節や重心の位置に着目し、「のびる」とらえ、材料の特性を生かして表す
- 人の動きから感じ取ったイメージな想を練ったり鑑賞したりする。
- 人の動きを彫刻で表すことに関心を

全題材に掲載

防災を意識したピクトグラム



▲2・3上 P.39
ひと目で伝えるための工夫

中身や気持ちを工夫して



▲2・3下 P.38
魅力を伝えるパッケージ

● 人生や社会に生きて働く、さまざまな取り組み

美術の学びが、どのように「よりよい人生を送ることができるか」を意識して他教科や地域社会、キャリア教育など豊富な題材や情報を盛り込みました。授業設計の面でもカリキュラムマネジメントに大いに役立ちます。

本文題材には全てに「造形的な視点」

活動する上で「造形的な視点」を身に付けられるよう、図版などを指して問いを示しました。

造形的な視点

静止している彫刻から、なぜ動きが感じられるのだろうか。

▲2・3上 P.10

造形的な視点

光により、どのような印象を受けるだろうか。

▲2・3下 P.21

他教科との連携

社会科・歴史的分野

その他関連する教科

- 道徳マークを関連する題材で掲載
- 体育や部活動、ダンスなど音楽
- 全題材を通してアイデアスケッチ、作者の言葉など発想・構想に役立つ言語活動や国語



▲2・3上 P.26 浮世絵はすごい

SDGs, ESDや地域社会に関わる題材

ポスターデザイン



▶2・3上 P.40

ユニバーサルデザイン



▲2・3上 P.44

その他

- 美術の力で「課題を解決」する題材
- 共同制作を通して、「地域を知り社会に奉仕」する題材
- 「学校紹介」や、「地域産業」を紹介する動画制作の題材
- 「社会や環境」を意識したデザインの題材
- 各地に息づくパブリックアートやアートイベントの紹介

キャリア教育

巻頭オリエンテーション「学びの言葉」

3分冊構成それぞれに設置。

社会で活躍する人から、美術の学びに興味を持つきっかけが得られるコメントを掲載。

2・3上：岡本太郎氏（芸術家） 2・3下：井浦新さん（俳優）

伝統工芸の職人の技を知る



▲2・3上 P.33

パラリンピック競技の選手から



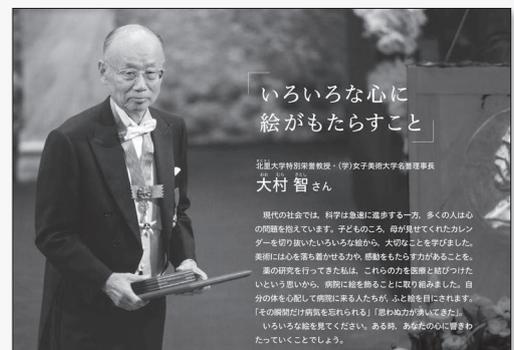
▲2・3上 P.47

鉄道デザイナー 水戸岡鋭治さんから



▲2・3下 P.46

卒業前の学びとして「社会に生きる美術の力」美術の力は社会のあらゆる面で生きていることを3名の言葉を取り上げて示す特設ページ。



いろいろな心に 絵がもたらすこと

北里大学特別栄誉教授・(学)女子美術大学名誉理事長 大村智さん

現代の社会では、科学は急速に進歩する一方、多くの人々の問題を抱えています。子どものころ、母が見せてくれたカレンダーを切り抜いたいろいろな絵から、大切なことを学びました。美術は心を落ち着かせる力や、感動をもたらす力があること。あの時気づかずにいたのは、この力を芸術と結びつけたらいいという思いから、病院に絵を贈ることに取り組みました。自分の力を配して病院に来る人たちが、ふと絵を目にされます。「その瞬間だけ痛みを忘れる」「思わぬ力が湧いてきた」。いろいろな絵を見て下さい。ある時、あふれる心に響きわたっていくことでしょう。

▲2・3下 P.58

- 大村智博士（ノーベル生理学・医学賞受賞者）
- 冷水希三子さん（料理家）
- 松村真宏さん（仕掛学 大阪大学教授）

2 対照表

教育基本法第2条に示されている教育の目標を達成し、教育基本法の考えが教科書全体に行き渡るように、題材の設定や作品、写真の選択、文章表現などについて十分に配慮しました。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	第2条との対照	該当箇所
オリエンテーションと学びの言葉	一人一人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるよう、ゴッホやモネの原寸大や、サグラダ・ファミリアの大きな図版と、岡本太郎氏（芸術家）、井浦新さん（俳優）の言葉を掲載し成長に応じた美術の学びを共有するページを設けました。	第1号、第2号	2・3上 P2～5 2・3下 P2～5
あなたの美を見つけて	2年生からの美術の学びを、より実感して深まる入口として、個々の個性を尊重し、自ら進んで意欲的に取り組めるように設けました。	第2号	2・3上 P6・7
・社会に生きる美術の力 ・あなたへ明日への巣立ち	3年間の美術の学びを振り返りつつ、卒業を控えて、幅広い知識と教養を身に付け豊かな情操を培うことができるよう掲載しています。ノーベル賞の大村智博士や料理家からの思い、現場から評判高い詩も再検討して改善し掲載しました。	第1号、第2号、第3号	2・3下 P58・59 2・3下 P60・61
教科書ガイダンス・目次	何を学ぶためのなにかをメッセージで記載しています。また、教科書を通して、授業や学習しやすい誌面の説明や、目次一覧を掲載しています。	第2号	2・3上 P8・9 2・3下 P6・7
本文・題材ページ	表現や鑑賞の全活動において、美しいものや優れたものに触れ、豊かな情操と道徳心を養うことのできる題材を掲載しています。生徒作品・作家作品や、発想構想の手助けとなる活動的な情景写真を取り入れて、健やかな身体を養う題材を掲載しています。	第1号	全般
	表現や鑑賞の全活動において、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画する態度や、自然・環境を意識した題材を通して、生命を尊び自然を大切に、環境を意識した内容を掲載しています。	第3号、第4号	全般
	日本の世界文化遺産や伝統文化・工芸に関わる題材を取り上げ、実際に表現・鑑賞することでそのよさを深く理解できるように工夫しました。	第5号	全般
	我が国や諸外国の美術や文化に触れる機会を設け、その違いや共通点に気づき、それらを通して多様な文化を理解し、尊重する態度を養うことができる内容を設定しました。	第5号	全般
学習に役立つ資料	作家のあらゆる作品や、様々なアートイベントを紹介する鑑賞資料を通して、幅広い知識や教養、自主・自立の精神を養うこと、伝統と文化を尊重することなどの態度が養われる情報を掲載しました。	第1号、第2号、第5号	2・3上 P50～65 2・3下 P48～57
	表現活動をする上での基礎・基本となる技法や安全指導、また写真や動画撮影をする際に必要な著作権などの注意事項などから、正義と責任を重んじ個人の価値を尊重する態度を養うことができました。	第1号、第2号	

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① 特別支援教育への配慮

全ての生徒が等しく学べるように、UDフォント（ユニバーサルデザインに対応した書体）を用い、国立特別支援教育総合研究所の大内進先生にカラーユニバーサルデザインの観点から編修を行うなど、特別支援教育の観点に配慮しています。

② 道徳との関連への配慮

教科書全体を通して表現や鑑賞する喜びを味わいながら、美しいものや崇高なものを尊重する心を育むことや、自己の理解、身の回りの人たち、家族や学校の人々を敬愛すること、我が国や郷土の伝統と文化を大切にすることなどと関連を図るとともに、特に道徳との関連があるページについては、マークと補足する文章を示しています。

③ ICT活用への配慮

二次元QRコードを付けた箇所では、ICT機器を活用して学習を効果的に進められるように、弊社ウェブサイトコンテンツを用意しています。

④ 保護者への配慮－家庭、地域との連携

美術科がどのような教科でどのような学習をするのか、またこの教科書でどのような力が身に付くのかをオリエンテーションのページなどで保護者にも伝えるように配慮し、学校・家庭・地域の連携を示しました。

⑤ 伝統文化、言語活動の充実、他教科との関連

美術の学習を通じて学び実感することができるよう、多くの本文ページで配慮しました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31 - 12	中学校	美 術	美 術	2-3
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	美術 803 美術 804	美術 2・3上 学びの実感と広がり 美術 2・3下 学びの探求と未来		

1 編修上特に意を用いた点や特色

特色① 授業の流れ・学びが見える

授業の流れが一目瞭然で、授業の進め方がイメージできる教科書

生徒が主体的に取り組めるよう、発達の段階を踏まえて、題材は見開き（2ページ）構成としました。インデックスや題材名、学びの目標など学習しやすく、授業展開がイメージしやすいレイアウトにしました。

身近な生活に関わる図版を提示

学習する目的や、題材名を示しています。

各題材で身につけたい学習の目標が書かれています。

図版は生徒作品や、作家作品など題材に応じて掲載しています。

「絵や彫刻など」や「デザインや工芸など」の学習する分野と、表現や鑑賞の活動を示すインデックスを示しています。

その図版から形や色彩、材料や光など、また全体のイメージから気づいてほしい点を示しています。

作者の思いから、発想・構想する際に役立ちます。

その他にも、ワークシートやアイデアスケッチの記入例を多く掲載しています。

発想や構想に役立つ学習シーンを掲載しています。

教師にとっては授業しやすく、生徒にとっては学びやすいよう、主要な情報はマーク化して多面的に整理しました。

「学びの目標」は、新学習指導要領で整理された三つの目標に照らし合わせて、本文題材の全てのページに掲載。その他、注意すべきことを示しています。

▲P.8-9 この教科書で学びみなさんへ

マークについて
使用されているマークの意味や内容を知り、学習に生かす。

造形的視点
題材ごとに掲載しています。指している図版に対しての印象や気づいて欲しいことを示しています。

作者の思い
作家作品や生徒作品に対して、作者の思いを示しています。

興味
題材に関連して欲しい情報を示しています。

学び
学習に関連する内容が掲載されているページを示しています。

関連
関連の学習と関連している内容を示しています。

注意しよう
作品をつくる上での安全面や、活動する際の注意点を示しています。

留意事項
作品図版の解説に記しています。

造形的視点
作者の思い
興味
学び
関連
注意しよう
留意事項

● 3分冊構成（美術1，美術2・3上，2・3下）の有効性

各学年における資質・能力の育成が大切な意味でも、それぞれの発達の段階に応じた教科書が必要になります。

3冊構成には理由があります。

⇒学習指導要領には「第2学年と第3学年の発達の特性を考慮」と新設された

第2 各学年の目標及び内容

〔第2学年及び第3学年の目標と内容〕 3 内容の取扱い

(1) 第2学年及び第3学年では、第1学年において身に付けた資質・能力を柔軟に活用して、表現及び鑑賞に関する資質・能力をより豊かに高めることを基本とし、第2学年と第3学年の発達の特性を考慮して内容の選択や一題材に充てる時間数などについて十分検討すること。

2学年，3学年
の発達の段階に
合わせた特設
ページ



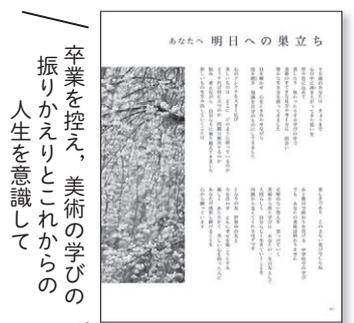
中学生が撮影した図版から
身近な美に気付かせる

▲2・3上 巻頭
あなたの美を見つけて



美術が社会や生活で
生かされている大切さ

▲2・3下 巻末
社会に生きる美術の力



卒業を控え、美術の学びの
振り返りかえりとこれからの
人生を意識して

▲2・3下 巻末
あなたへ 明日への巣立ち

● 両観音開きで、作品の醍醐味を知る

- 葛飾北斎「神奈川沖浪裏」を、通常より色数を増やし高精細印刷で、当時の状態に限りなく再現。
- 自然災害の脅威（池田学「誕生」）や、戦争への怒りを表した（ピカソ「ゲルニカ」）の鑑賞から、美術の力を考えるページ。

● 題材学習を支える鑑賞・技法・色彩の資料群



- 岡本太郎の「太陽の塔」など11点、暮らしに息づくパブリックアート10点、葛飾北斎の表現、美術史年表など
- さまざまなアートに触れよう14点、日本の世界文化遺産、各地の伝統工芸、仏像の種類、動画の作り方など

◀2・3上 P.50-51

現行教科書より
上・下巻で8ページ増

● 特別支援教育・ユニバーサルデザインに対応した教科書

特別支援教育や色覚特性などの観点から、誌面デザインを検証しています。

活動する分野や、領域について、見やすい色で判別できるインデックス表示をしました。

題材名は見やすく、何に取り組むのかを明確に読み取れるようにしました。

- 主文（本文）や、図版解説などの文字については分かりやすく、読みやすいよう配慮しました。
- 掲載図版のサイズでは大小のバランスを考慮して、分りやすいようレイアウトしました。

彫刻や
絵など

デザインや
工芸など

UD
フォント
使用

躍動感を表す
瞬間の美しさを
形に

表現
鑑賞

表現
鑑賞

特色③

これからの社会につながる学び

生活や社会との関連、カリキュラムマネジメント、社会に開かれた教育課程

● 生活や社会に生かし、課題解決などの学びを関連させる教科書

中学2年生では、美術作品の表現に対して空間の広がりや立体感、人目を引くためのデザインの力にも実感を伴ってきます。さらに3年生になると、自己の内面に気づき自分自身を知り、自分を取りまく新しい視点で生活や社会を意識します。その成長過程に合わせて、関連した題材を豊富に盛り込んで構成しています。



▲2・3上 P.40

その一枚が人を動かす



▲2・3上 P.38 ひと目で伝えるための工夫

その他の題材においても

- いつも使うものを意識した工芸 (2・3上)
- ユーモアを意識した工芸 (2・3下)
- 貧困や障害を克服する美術の力 (2・3上)
- 自然災害を美術の力で克服する作品提示 (2・3下)
- 文化財などの修復について考え話し合う鑑賞 (2・3下)

● 他教科やさまざまな学習要素と関連付けて学ぶことができる教科書

カリキュラムマネジメントの実現を目指し、他教科や他題材との関連を図っています。

特別活動
修学旅行



▲2・3下 P.31 仏像に宿る心

社会科・
歴史的分野



▲2・3下 P.22

ルネサンスが目指したもの

その他

- “言語能力”を育むアイデアスケッチや「作者の言葉」を随所に掲載
- デジタルカメラや動画制作、コンピュータなど“ICT活用”の題材
- ピクトグラムやポスターなどから“防災”“反戦”などの題材
- 共同制作を通して、“地域を知り社会に奉仕”する題材
- 世界各地の課題解決や、美術史などから“異文化理解”ができる題材

● 社会に開かれた教育課程の実現を目指す教科書

つくったものを生活や社会に生かしたり、地域とつながる事例を掲載しています。

違う立場や、相手の立場を考えたデザインを表す

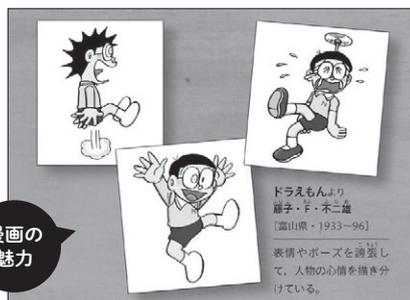
ユニバーサルデザイン



▲2・3上 P.45

生徒の興味関心のある身近な題材から、表現する魅力を提示

漫画の魅力



▲2・3下 P.16

その他

- 公共の施設から、“自然との共生”の意識をもって鑑賞する
- 日本の美意識について、“四季の素晴らしさ”から表現する
- 共同制作活動を通じて“地域に奉仕”する心を育てる学習
- “アイヌや沖縄”の民族衣装から、文化を学ぶ

本教科書の特色表

基本事項	教育基本法の遵守	・教育基本法第二条に示されている教育の目標を達成し、教育基本法の考えが教科書全体に行き渡るように、題材の設定や作品、写真の選択、文章表現などについて十分に配慮しています。
	学習指導要領の遵守	・学習指導要領に示された目標を受けて、全ての題材において、表現と鑑賞が一体的に学習できるように配慮しています。題材は、学習指導要領を基に「表現」及び「鑑賞」領域のもと「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「鑑賞」の3つの分野に分け、活動の内容を把握しやすいように示しています。 ・学習指導要領で示された目標に基づき、全ての題材において「学習の目標」を示しています。 ・〔共通事項〕は、「造形的な視点」とし、教科書全体で取り扱うとともに、活動と〔共通事項〕を結び付けられるように設定しています。また、より造形的な視点で身の回りや社会をとらえることができるようページレイアウトを工夫したり、学習を補足するための特設ページや資料ページも設けています。
	公正性	題材の選定、記述に当たっては、内容が一方的、断片的な見解に偏っていないか、広く受容されているかを、十分に吟味・検証しています。
	正確性	検定基準等に照らして的確な内容であることを検証しています。
内容・系統	発達の段階への配慮 (小, 中, 高連携)	それぞれの領域・分野の中で、生徒の発達に十分に配慮した題材を設定し、系統立てて構成しています。
	配列・分量	・地域や学校の実態に合わせて、題材を選択したり組み合わせたりできるよう工夫しています。 ・題材での学びを次の活動へ生かせるよう、題材に系統性をもたせています。
	主体的・対話的で深い学びの実現	・「この教科書で学ばみなさんへ」のページにおいて、美術の学びに向かうメッセージを設けました。 ・「造形的な視点」や「学習の目標」、教科書の使い方を共有し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫しています。 ・生徒が自分の活動を振り返り、意欲的に自ら興味関心が持続できるよう設定しています。 ・生徒が考えを伝え合ったり、友達と相談したりしながら活動を行う様子を紹介し、対話を通して思考力を働かせ、学びを深めることができるように工夫しています。 ・オリエンテーション、特設ページを設け、生徒が「造形的な見方・考え方」を働かせて、発想構想ができるよう、題材の設定に十分に配慮しています。
	社会に開かれた教育課程・カリキュラムマネジメントの実現	・オリエンテーションや特設ページを設け、美術科で育む資質・能力について保護者や教科書を見る人たちと共有できるよう工夫しています。また、アーティストやデザイナー、著名人を取り上げることで美術が社会や生活の中で生かされていることを活用できるよう示しています。 ・社会問題や、地域文化、美術以外の分野の著名人も多く取り上げて、美術での学習が社会とつながっていることを示しています。 ・他教科と関わりのある題材を設定しています。
	言語活動の充実	・発想や構想、鑑賞など様々な場面で生徒がコミュニケーションを取りながら造形活動を行う様子を紹介しています。 ・「作者の言葉」や、アイデアスケッチを紹介し、形や色彩・言葉で思いを伝え合う活動を促しています。
現代的・社会的課題	伝統文化・多様性の尊重と国際理解	・伝統文化に関わる作品を多く取り上げ、また、伝統工芸や日本の伝統色、美意識などを取り上げています。 ・アイヌ・沖縄文化や、外国の作家作品、アール・ブリュットの作品を取り上げています。
	社会の持続可能な発展	・SDGsなど持続可能な社会の担い手として成長すべき点や、生命の多様性・共生に関連する作家作品などを取り上げ、社会の持続可能な発展への関心を高める工夫をしています。 ・自然との共生を意識した題材など、環境問題への関心を高める工夫をしています。
	家庭や地域・社会への関心	・題材ページや特設ページにおいて、作品を家庭で使ったり、飾ったりしている場面を掲載しています。 ・安全な社会や防災の観点を造形的に捉えた作品やデザインなどを紹介しています。
	人権への配慮	・あらゆる立場の作家や活動を紹介し、人との触れ合いや共生への意識を高める工夫をしています。 ・互いの活動や表現を認め合う姿を数多く紹介しています。 ・題材ページや資料ページにおいて、平和や人権に関わる作家作品やポスターなどを取り上げています。
その他	デジタル教材の活用	・生徒の学びを深めるためのデジタルコンテンツを制作し、該当題材には二次元コードを示しています。 ・別途デジタル教材を提供する体制を整え、学習効果をより高められるよう配慮しています。
	2020東京オリンピック・パラリンピック	・2・3上「デザインで人生を豊かに」では、パラリンピックの選手や競技用車いすなどを取り上げています。
	特別支援教育・ユニバーサルデザインへの配慮	・すべての生徒が等しく学べるよう、カラーユニバーサルデザインに配慮して編修しています。 ・拡大教科書を制作します。
	判型	・A4ワイド判を採用し、作品や写真をより大きく見やすく、インパクトをもたせて掲載し、生徒の興味・関心を引き出す工夫をしています。
	文字・印刷・製本	・文字は、生徒に読みやすいよう開発された教科書体を使用しています。 ・重さへの負担を軽減するため、軽量化した再生紙の中で最適の良質コート紙を使用しています。 ・表紙は美しい光沢と耐水性のあるコーティングを施し、丈夫で水濡れに対しても耐久性があります。 ・人体への影響が少ない植物性インキを用いて印刷しています。

2 対照表

(2・3上)

頁数	教科書の内容	分野	学習指導要領の内容
2-5	学びの美感と広がり／岡本太郎	鑑賞	B鑑
6-7	あなたの美を見つけて	鑑賞	B鑑
8-9	この教科書で学ぶみなさんへ・目次	—	—
10-11	瞬間の美しさを形に	絵・彫	A表 (1) (2) ア, B鑑, 共 (1) ア, イ
12-13	視点の冒険	絵・彫	A表 (1) (2) ア, B鑑, 共 (1) ア, イ
14-15	動き出しそうな動物たち	絵・彫	A表 (1) (2) ア, B鑑, 共 (1) ア, イ
16-17	心のイメージを形に	絵・彫	A表 (1) (2) ア, B鑑, 共 (1) ア, イ
18-19	構図に思いをのせて	絵・彫	A表 (1) (2) ア, B鑑, 共 (1) ア, イ
20-21	水と筆を操る	絵・彫	A表 (1) (2) ア, B鑑, 共 (1) ア, イ
22-23	なんでこれが美術なの？	絵・彫	B鑑 ア(ア), 共 (1) ア, イ
24-29	浮世絵はすごい	絵・彫	B鑑 イ(イ), 共 (1) ア, イ
30-31	文化の出会いがもたらしたもの	絵・彫	B鑑 イ(イ), 共 (1) ア, イ
32-33	手から手へ受け継ぐ	デ・工	B鑑 ア(イ), 共 (1) ア, イ
34-35	季節を楽しむ心	デ・工	A表 (1) (2) イ, B鑑, 共 (1) ア, イ
36-37	ジジチカピカ ポッポッパツ	デ・工	A表 (1) (2) イ(ア), B鑑, 共 (1) ア, イ
38-39	ひと目で伝えるための工夫	デ・工	A表 (1) (2) イ(イ), B鑑, 共 (1) ア, イ
40-41	その一枚が人を動かす	デ・工	A表 (1) (2) イ(イ), B鑑, 共 (1) ア, イ
42-43	つくって使って味わう工芸	デ・工	A表 (1) (2) イ(ウ), B鑑, 共 (1) ア, イ
44-45	暮らしやすさのデザイン	デ・工	A表 (1) (2) イ(ウ), B鑑, 共 (1) ア, イ
46-47	デザインで人生を豊かに	デ・工	B鑑 ア(イ), 共 (1) ア, イ
48-49	憩いを生み出す場所	デ・工	B鑑 イ(ア), 共 (1) ア, イ
50-51	岡本太郎“芸術はみんなのもの”	資料	B鑑
52-53	暮らしに息づくパブリックアート	資料	B鑑
54	北斎の大波	資料	B鑑
55	水墨画の表現／写真で表現する	資料	A表
56	立体を描く／人物をつくる	資料	A表
57	木でつくる／金属でつくる	資料	A表
58-59	絵巻物の世界	資料	B鑑
60-63	日本美術と世界の美術の歩み	資料	B鑑
64	色彩の特徴を深く知る	資料	B鑑
65	日本の伝統色	資料	B鑑

(2・3下)

頁数	教科書の内容	分野	学習指導要領の内容
2-5	学びの探求と未来／井浦新	鑑賞	B鑑
6-7	この教科書で学ぶみなさんへ・目次	—	—
8-11	今を生きる私へ	絵・彫	A表 (1) (2) ア, B鑑, 共 (1) ア, イ
12-13	空想は現実を超えて	絵・彫	A表 (1) (2) ア, B鑑, 共 (1) ア, イ
14-15	仲間との交流の中から	絵・彫	A表 (1) (2) ア, B鑑, 共 (1) ア, イ
16-17	漫画の魅力	絵・彫	A表 (1) (2) ア, B鑑, 共 (1) ア, イ
18-19	イメージを追い求めて	絵・彫	A表 (1) (2) ア, B鑑, 共 (1) ア, イ
20-21	きらめき ゆらめき	絵・彫	A表 (1) (2) ア, B鑑, 共 (1) ア, イ
22-23	ルネサンスが目指したもの	絵・彫	B鑑 イ(イ)
24-29	あの日を忘れない	絵・彫	B鑑 ア(ア)
30-31	仏像に宿る心	絵・彫	B鑑 ア(ア)
32-33	どこまで修復すべきか	絵・彫	B鑑 ア(ア)
34-35	自分へ贈る卒業記念品	デ・工	A表 (1) (2) イ(ア), B鑑, 共 (1) ア, イ
36-37	私の色 みんなの色	デ・工	A表 (1) (2) イ(ア), B鑑, 共 (1) ア, イ
38-39	魅力を伝えるパッケージ	デ・工	A表 (1) (2) イ(イ), B鑑, 共 (1) ア, イ
40-41	動きを生かして印象的に	デ・工	A表 (1) (2) イ(イ), B鑑, 共 (1) ア, イ
42-43	心がほっと なごむもの	デ・工	A表 (1) (2) イ(ウ), B鑑, 共 (1) ア, イ
44-45	人が生きる社会と未来	デ・工	A表 (1) (2) イ(ウ), B鑑, 共 (1) ア, イ
46-47	笑顔が生まれる鉄道デザイン	デ・工	B鑑 イ(ア)
48-49	火焰型土器	資料	B鑑
50-51	さまざまなアートに触れよう	資料	B鑑
52	日本の世界文化遺産	資料	B鑑
53	受け継ぐ伝統と文化	資料	B鑑
54	仏像の種類／美術文化の継承	資料	B鑑
55	トリックアート／デベイズマン	資料	B鑑
56	石を彫る／布を染める	資料	A表
57	動画をつくる	資料	A表
58-59	社会に生きる美術の力	鑑賞	B鑑
60-61	あなたへ 明日への巣立ち	鑑賞	B鑑

表の「学習指導要領の内容」は、学習指導要領第2章第6節第2の内容を表す。A表現(1)は「思考力、判断力、表現力等」として発想や構想、A表現(2)は「技能」に関する項目を示し、アは絵や彫刻などに表す活動、イはデザインや工芸などに表す活動に関する事項を示す。B鑑賞(1)アは鑑賞する活動を通して育成する「思考力、判断力、表現力等」に関する項目を示す。共(1)は共通事項を示し、アは形や色彩などの造形的な特徴を理解するという「知識」、イは自分のイメージをもつという「思考力、判断力、表現力等」に関する事項を示す。また表の「分野」について、「絵・彫」は絵や彫刻などに表す活動、「デ・工」はデザインや工芸などに表す活動、「鑑賞」は鑑賞する活動を示している。

●A表現(1)に関して

A表現の全題材において、生徒が発想や構想していく情景写真を示しています。また、発想や構想のヒントとなる「発想構想の手立て」を題材ページとは別に設定しています。

●B鑑賞(1)に関して

B鑑賞の全題材で、生徒たちが造形的な面白さを感じ取り、自分の見方・考え方を働かせる作家作品を掲載するとともに、表現題材においても生徒作品や題材に関連する作品から鑑賞できる作品を掲載しています。また、オリエンテーションや原寸大作品を掲載しているページもあります。

●〔共通事項〕(1)アに関して

全ての題材の内容に盛り込み、題材ページとは別に、資料ページで色彩など特定の情報が習得できるよう設定しています。

●〔共通事項〕(1)イに関して

全ての題材に「造形的な視点」を設け、発想構想の手助けになる意味合いを掲載しています。

●目標に関して

全ての題材において、「学びの目標」を設定し、その題材の目標を共有できるようにしています。